

2015年10月27日

第5回「環境未来都市」構想推進国際フォーラム



環境未来都市・横浜の取組と都市間連携



横浜市 副市長 鈴木 伸哉

横浜の歴史 ~ これまでに乗り越えてきた課題 ~

1859年 横浜開港

開港時 : 小さな村

開港後 : 横浜は日本の国際的な玄関口に

1923年 関東大震災

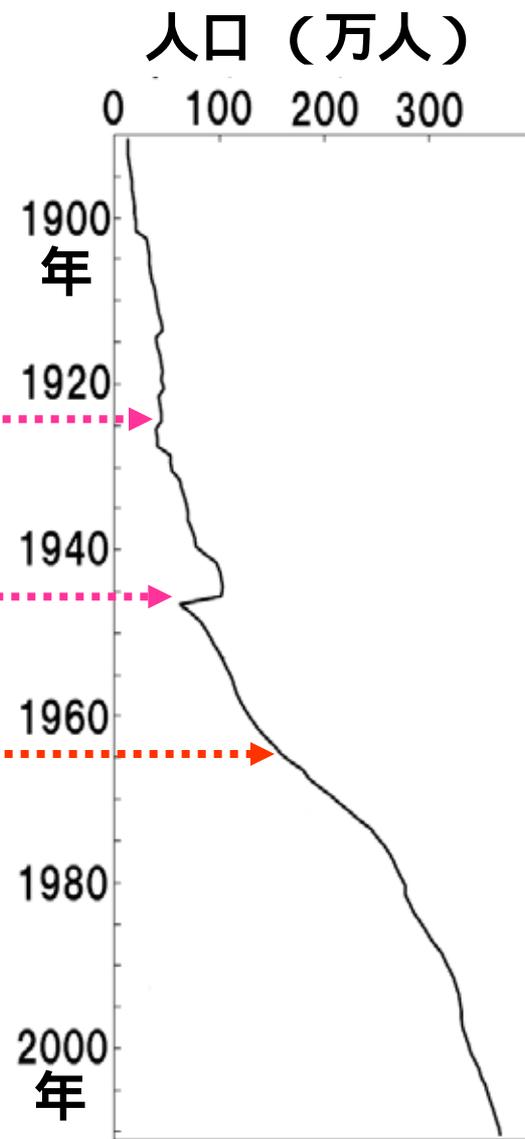
横浜は壊滅的な被害を受けるも、
その復興の中から現在の都市部の骨格を形成

1945年 横浜大空襲

米軍による市内枢要部の接收

1965年 ~ 高度成長期

人口集中 無秩序なスプロール化
住環境の急速な悪化





横浜の「5大戦争」

- ・環境破壊
- ・ごみ
- ・道路交通
- ・水資源
- ・公共用地





横浜の「6大事業」

- ・都心部の強化
- ・金沢地先埋立
- ・港北ニュータウンの建設
- ・高速鉄道の建設
- ・高速道路の建設
- ・ベイブリッジの建設



環境未来都市・横浜の将来像



文化芸術や成長産業の創出、
機能的なビジネス空間

低炭素で途切れない
エネルギー、上下水道、
廃棄物収集のネットワーク、
医療・介護・福祉・子育ての
切れ目ない連携による安心感

自然環境（水・緑）と
地勢に恵まれた生活空間

各地域の特徴を生かした「まちづくり」

都心臨海部の魅力向上



**東神奈川臨海部
周辺地区**

**横浜駅
周辺地区**

**みなとみらい
21地区**

山下ふ頭

**関内・関外
地区**

横浜駅周辺の将来イメージ

MICE施設

LRTイメージ

山下ふ頭の再開発

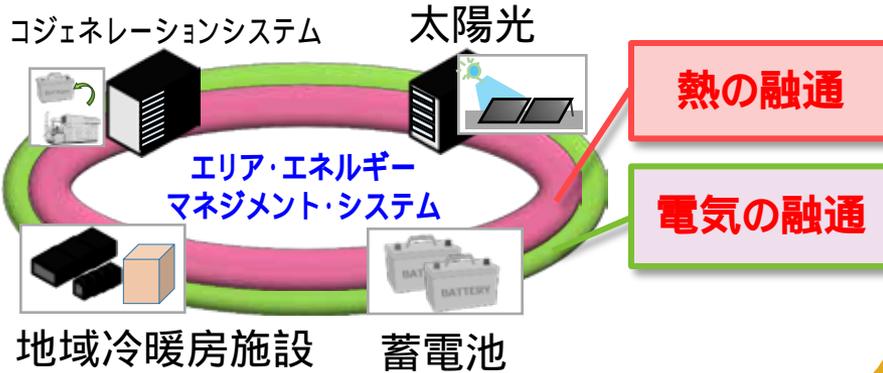
整備場所 新市庁舎整備地区

みなとみらい2050プロジェクト

みなとみらい21地区を「**世界を魅了する最もスマートな環境未来都市**」としていくことを目指し、「みなとみらい2050プロジェクト アクションプラン」を策定。(2015年3月)

エネルギー

・ICTを活用した自立分散型エネルギーインフラ形成



グリーン

- ・公園緑地等
- ・公開空地等



壁面緑化



まちかどの緑

アクティビティ

- ・MICE
- ・港等を活かした魅力づくり



パシフィコ横浜



スマートイルミネーション

エコ・モビリティ

- ・次世代型交通
- ・新たな交通システム



ワンウェイ型カーシェアリング



LRT

～ 持続可能な住宅地モデルプロジェクト～

たまプラーザ駅北側地区

横浜市と東急電鉄が協働して、平成25年6月に「次世代郊外まちづくり基本構想2013」を策定。

モデル地区において「家庭の省エネプロジェクト」や元気で豊かなコミュニティ実現に向けた地域住民主体の「住民創発プロジェクト」等を実施。

相鉄いずみ野線沿線地域

平成25年4月に横浜市と相鉄HDでまちづくりの包括協定を締結。

市民ワークショップや研究会の開催を通じ、まちづくりビジョンの検討等を実施。

たまプラーザ

十日市場

相鉄いずみ野線沿線地域

洋光台

十日市場町周辺地域

市有地と周辺大規模住宅団地等を含めた地区を対象に、持続可能な住宅地を整備する事業者を公募し事業予定者を選定。

洋光台周辺地区

UR都市機構の中央団地の空き店舗を活用し、多世代交流・コミュニティ活性化のための地域拠点（CCラボ）を試行的に開設。

横浜市の国内外からの評価

国から「**環境未来都市**」に選定（2011年）
「**環境モデル都市**」に選定（2008年）



OECD（経済協力開発機構）から
「**高齢社会における持続可能な都市**」
プロジェクトの**ケーススタディ都市**に選定
（2014年）



世界大都市気候先導グループ（C40）の参加都市で構成される
「**国際カーボンニュートラル都市ネットワーク**」に参加（2015年）

受賞歴

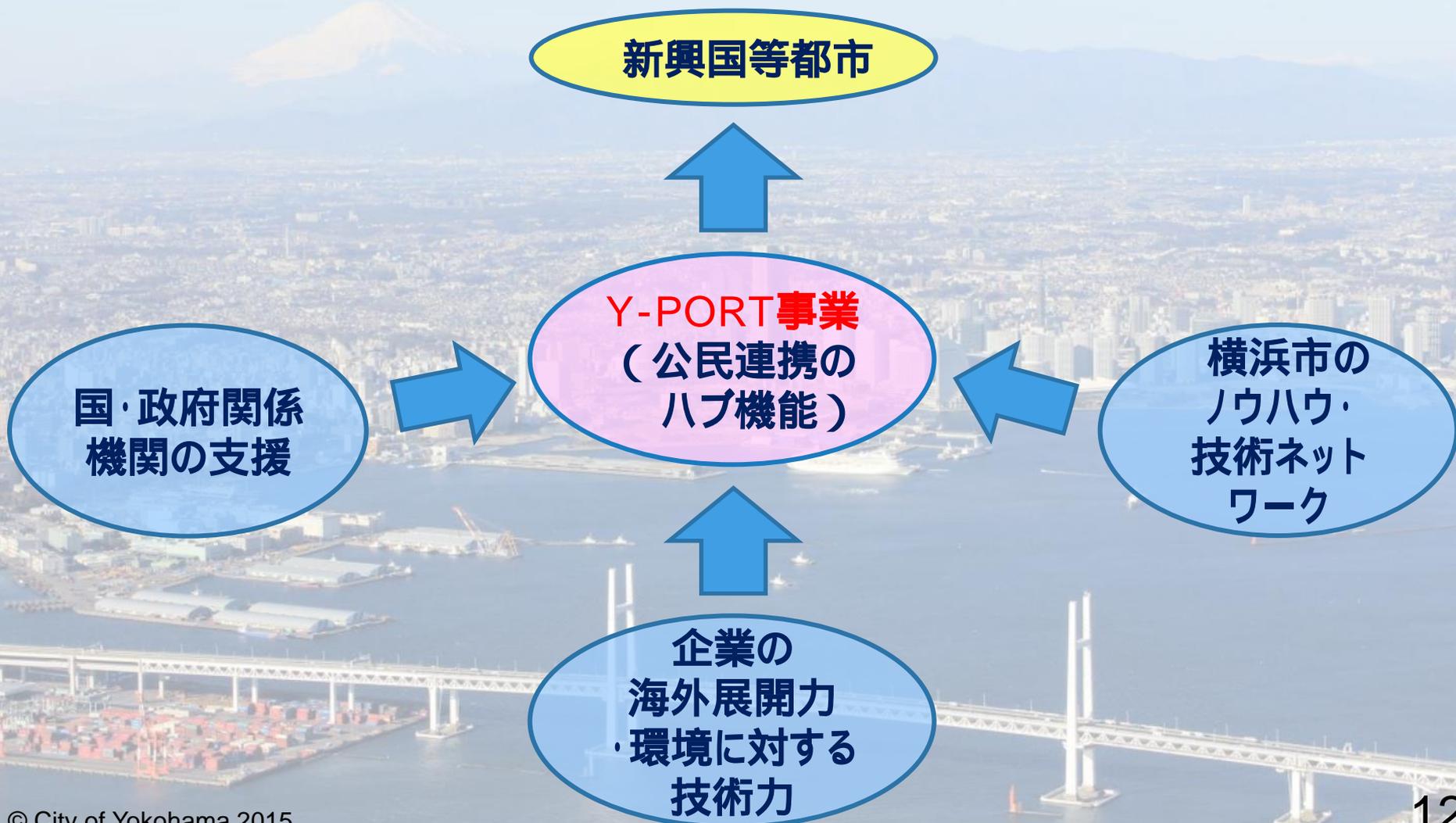
- ・「**ワールドスマートシティアワード**」**都市部門** 受賞（2011年12月 バルセロナ市）
 - ・「**グローバルグリーンシティ・アワード**」受賞（2013年6月 ベルリン市）
 - ・「**リー・クアンユー世界都市賞**」**特別賞** 受賞（2014年6月 シンガポール）
- など



都市間連携と国際協力

公民連携による国際技術協力 (Y-PORT事業)

新興国等での持続可能な都市づくり支援と
市内企業のビジネス展開支援



タイ国 バンコク都

- JICA事業によるバンコク都
気候変動マスタープラン
策定支援
- 環境省JCM調査により
市内企業との低炭素
技術ミッションを行い、
案件発掘を実施



(左・中央) バンコク都気候変動マスタープラン策定支援 (本邦研修、現地ワークショップ)
(右) JCM低炭素技術ミッション (市内企業ビジネスマッチング)

フィリピン国 セブ市

- 2012年度から、JICAとセブ都市圏の都市開発ビジョン
「MEGA Cebu Vision 2050」の策定を支援
- さらにビジョンを実現するための長期インフラ計画
「MEGA Cebu Roadmap 2050」の策定を支援
- これまでに市内中小企業がJICA調査・実証事業を
のべ6件受注



(左) アムコン(株)の汚泥脱水処理事業
(右) 萬世リサイクルシステムズ(株)の廃プラ・リサイクル事業

各都市の持続可能な都市づくりの課題や展望について意見交換を行い、都市間の連携を強化

第1回
(2012年)
11都市

第2回
(2013年)
21都市

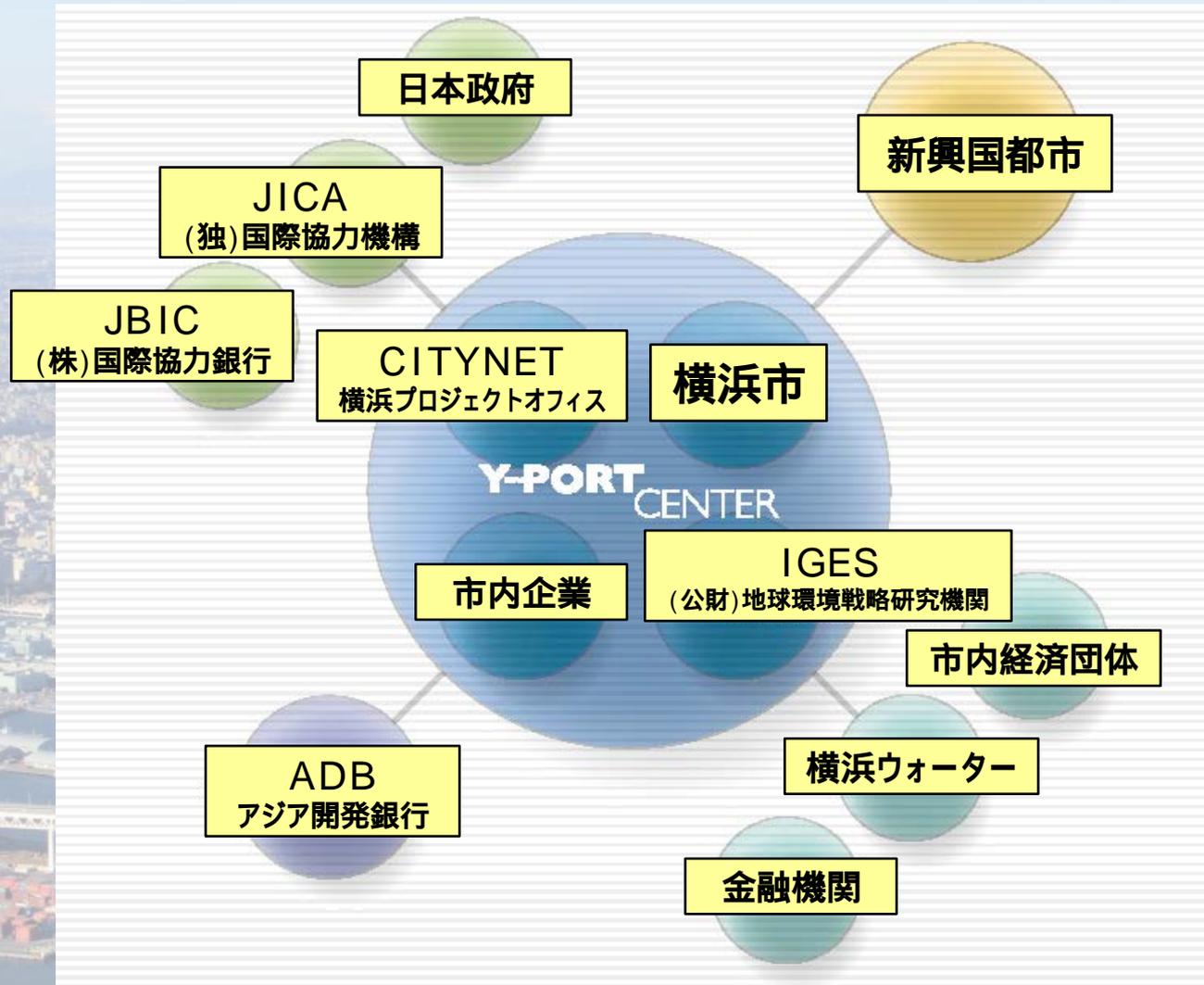
第3回
(2014年)
22都市

第4回
(2015年)
21都市



Y-PORTセンターの発足

市内企業・専門機関・横浜市が連携し、公民連携による海外インフラビジネス推進に向けたプラットフォームとして、「Y-PORTセンター」を発足（2015年5月）





ご清聴ありがとうございました

